

2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月1日

上場会社名 日東工器株式会社

上場取引所 東

コード番号 6151 URL <https://www.nitto-kohki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小形 明誠

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 管理統轄 (氏名) 森 憲司

TEL 03-3755-1111

四半期報告書提出予定日 2023年2月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|-------|------|-------|------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期第3四半期 | 21,350 | 13.2 | 2,927 | 12.2 | 3,100 | 17.3 | 2,092 | 13.1 |
| 2022年3月期第3四半期 | 18,868 | 15.4 | 2,609 | 85.1 | 2,642 | 70.0 | 1,850 | 70.0 |

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 3,174百万円 (64.2%) 2022年3月期第3四半期 1,933百万円 (90.3%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期第3四半期 | 103.14 | |
| 2022年3月期第3四半期 | 91.18 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2023年3月期第3四半期 | 66,338 | 58,083 | 87.5 | 2,862.36 |
| 2022年3月期 | 64,334 | 55,730 | 86.6 | 2,746.45 |

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 58,074百万円 2022年3月期 55,722百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期 | | 24.00 | | 16.50 | 40.50 |
| 2023年3月期 | | 24.00 | | | |
| 2023年3月期(予想) | | | | 26.00 | 50.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|-----|-------|-----|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 27,560 | 9.0 | 3,620 | 7.9 | 3,660 | 4.1 | 2,510 | 30.2 | 123.71 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|------------|--------------|----------|--------------|
| 2023年3月期3Q | 21,803,295 株 | 2022年3月期 | 21,803,295 株 |
|------------|--------------|----------|--------------|

期末自己株式数

| | | | |
|------------|-------------|----------|-------------|
| 2023年3月期3Q | 1,514,396 株 | 2022年3月期 | 1,514,396 株 |
|------------|-------------|----------|-------------|

期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|------------|--------------|------------|--------------|
| 2023年3月期3Q | 20,288,899 株 | 2022年3月期3Q | 20,288,917 株 |
|------------|--------------|------------|--------------|

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 7 |
| (表示方法の変更) | 7 |
| (追加情報) | 7 |
| (セグメント情報等) | 8 |
| (重要な後発事象) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、多くの国で経済活動が正常化し景気回復に向かっているものの、エネルギー価格高騰や、高インフレの継続、世界的な金融引き締めが経済を下押ししています。日本経済においても、新型コロナウイルス感染症に対する制限が緩和され、個人消費を中心に回復の兆しが見られたものの、依然として円安や原材料価格高騰等の影響を受ける状況が続いております。

このような経営環境の中で、当社グループは、当第3四半期連結累計期間における売上高は213億50百万円となり、前第3四半期連結累計期間188億68百万円と比較すると、13.2%の増収となりました。利益面では、営業利益は29億27百万円となり、同26億9百万円と比較すると12.2%の増益、経常利益は31億円となり、同26億42百万円と比較すると17.3%の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は20億92百万円となり、同18億50百万円と比較すると13.1%の増益となりました。

事業のセグメント別の業績は、次のとおりです。

迅速流体継手事業は、設備投資需要により好調に推移し、売上高は96億37百万円（前第3四半期連結累計期間比14.8%の増収）となりました。利益面では、増収により、営業利益24億53百万円（同25.0%の増益）となりました。

機械工具事業は、国内外の売り上げが回復基調にあり、売上高は65億2百万円（同12.6%の増収）となりました。利益面では、増収により、営業利益5億10百万円（同28.6%の増益）となりました。

リア駆動ポンプ事業は、欧米の売り上げが好調で、売上高は35億33百万円（同9.7%の増収）となりました。利益面では、為替の影響、経費の増加及び原価率の上昇等により、営業損失43百万円（前第3四半期連結累計期間は2億42百万円の利益）となりました。

建築機器事業は、建築資材の高騰や資材不足の影響を受けたものの、首都圏を中心に物件納入が好調であったことにより、売上高は16億77百万円（同13.8%の増収）となりました。利益面では、原価率の上昇等により、営業利益7百万円（同5.1%の減益）となりました。

海外売上高は、アジア・欧州の売り上げが好調の上、円安の影響もあり、74億88百万円（前第3四半期連結累計期間比18.4%の増収）となり、海外売上高の連結売上高に占める割合は35.1%となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、663億38百万円となり、前連結会計年度末と比較して20億3百万円の増加となりました。

資産の部では、流動資産は484億45百万円となり、前連結会計年度末と比較して17億70百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金の増加8億59百万円、商品及び製品の増加6億52百万円、受取手形及び売掛金の増加4億52百万円、原材料及び貯蔵品の増加4億7百万円、有価証券の減少6億円等によるものであります。

固定資産は、178億93百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億33百万円の増加となりました。これは主に無形固定資産の増加1億19百万円、投資有価証券の増加1億45百万円、繰延税金資産の減少32百万円等によるものであります。

負債の部では、流動負債は38億31百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億92百万円の減少となりました。これは主に賞与引当金の減少2億91百万円、未払法人税等の減少2億89百万円、買掛金の増加1億41百万円、流動負債のその他の増加1億53百万円等によるものであります。

固定負債は、44億22百万円となり、前連結会計年度末と比較して57百万円の減少となりました。これは主に退職給付に係る負債の減少58百万円、リース債務の減少27百万円、役員退職慰労引当金の増加25百万円等によるものであります。

純資産の部では、親会社株主に帰属する四半期純利益は、20億92百万円でしたが、配当金の支払い8億21百万円があったため、利益剰余金は、12億70百万円の増加で553億89百万円となりました。また、為替換算調整勘定の増加9億76百万円等があったため純資産の部は、580億83百万円となり、前連結会計年度末と比較して23億53百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予測につきましては、2022年5月10日に公表いたしました「2022年3月期決算短信」から変更ありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 26,298 | 27,157 |
| 受取手形及び売掛金 | 4,070 | 4,523 |
| 電子記録債権 | 2,802 | 2,804 |
| 有価証券 | 5,499 | 4,899 |
| 商品及び製品 | 4,420 | 5,073 |
| 仕掛品 | 272 | 398 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,695 | 3,103 |
| その他 | 616 | 488 |
| 貸倒引当金 | △2 | △3 |
| 流動資産合計 | 46,675 | 48,445 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 11,353 | 11,524 |
| 減価償却累計額 | △6,522 | △6,806 |
| 建物及び構築物(純額) | 4,830 | 4,718 |
| 機械装置及び運搬具 | 4,718 | 4,939 |
| 減価償却累計額 | △3,576 | △3,869 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 1,141 | 1,069 |
| 工具、器具及び備品 | 7,430 | 7,550 |
| 減価償却累計額 | △6,888 | △6,987 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 542 | 563 |
| 土地 | 3,313 | 3,337 |
| リース資産 | 2,581 | 2,632 |
| 減価償却累計額 | △1,049 | △1,101 |
| リース資産(純額) | 1,531 | 1,530 |
| 建設仮勘定 | 128 | 279 |
| 有形固定資産合計 | 11,487 | 11,499 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 1,546 | 1,665 |
| 無形固定資産合計 | 1,546 | 1,665 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 3,070 | 3,215 |
| 長期貸付金 | 32 | 27 |
| 繰延税金資産 | 1,239 | 1,207 |
| その他 | 300 | 293 |
| 貸倒引当金 | △15 | △15 |
| 投資その他の資産合計 | 4,625 | 4,727 |
| 固定資産合計 | 17,659 | 17,893 |
| 資産合計 | 64,334 | 66,338 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 977 | 1,118 |
| リース債務 | 275 | 271 |
| 未払法人税等 | 769 | 479 |
| 賞与引当金 | 585 | 293 |
| 役員賞与引当金 | 30 | 29 |
| その他 | 1,487 | 1,640 |
| 流動負債合計 | 4,124 | 3,831 |
| 固定負債 | | |
| リース債務 | 1,460 | 1,433 |
| 退職給付に係る負債 | 2,491 | 2,432 |
| 役員退職慰労引当金 | 123 | 148 |
| 資産除去債務 | 32 | 30 |
| その他 | 372 | 377 |
| 固定負債合計 | 4,479 | 4,422 |
| 負債合計 | 8,604 | 8,254 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,850 | 1,850 |
| 資本剰余金 | 1,924 | 1,924 |
| 利益剰余金 | 54,119 | 55,389 |
| 自己株式 | △2,892 | △2,892 |
| 株主資本合計 | 55,000 | 56,271 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 751 | 831 |
| 為替換算調整勘定 | 71 | 1,048 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △101 | △77 |
| その他の包括利益累計額合計 | 721 | 1,802 |
| 非支配株主持分 | 7 | 9 |
| 純資産合計 | 55,730 | 58,083 |
| 負債純資産合計 | 64,334 | 66,338 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 18,868 | 21,350 |
| 売上原価 | 9,946 | 11,532 |
| 売上総利益 | 8,921 | 9,818 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 給料及び手当 | 1,839 | 1,848 |
| 賞与引当金繰入額 | 135 | 154 |
| 退職給付費用 | 131 | 149 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 21 | 25 |
| 販売促進費 | 106 | 173 |
| 研究開発費 | 676 | 785 |
| その他 | 3,402 | 3,754 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 6,312 | 6,890 |
| 営業利益 | 2,609 | 2,927 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 10 | 17 |
| 受取配当金 | 55 | 75 |
| 為替差益 | - | 10 |
| 雇用調整助成金 | 1 | - |
| 受取家賃 | 31 | 32 |
| その他 | 55 | 69 |
| 営業外収益合計 | 153 | 206 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 22 | 26 |
| 売上割引 | 61 | - |
| 為替差損 | 30 | - |
| その他 | 6 | 6 |
| 営業外費用合計 | 120 | 33 |
| 経常利益 | 2,642 | 3,100 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,642 | 3,100 |
| 法人税等 | 791 | 1,007 |
| 四半期純利益 | 1,850 | 2,093 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 0 | 0 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,850 | 2,092 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 1,850 | 2,093 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △11 | 79 |
| 為替換算調整勘定 | 81 | 977 |
| 退職給付に係る調整額 | 14 | 24 |
| その他の包括利益合計 | 83 | 1,081 |
| 四半期包括利益 | 1,933 | 3,174 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,934 | 3,173 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △0 | 1 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書)

従来、流動負債に表示しておりました「支払手形及び買掛金」は、支払手形の取り扱いがなくなり今後も発生する見込みがないため、第1四半期連結会計期間の期首から「買掛金」に表示を変更しました。なお、これによる前連結会計年度の連結貸借対照表における組み替えはありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に関する会計上の見積り

新型コロナウイルス感染症の影響については、2023年3月期において徐々に回復してゆくと仮定して会計上の見積りを行っております。なお、前連結会計年度末から重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | 合計 |
|-------------------|---------|-------|----------|-------|--------|
| | 迅速流体継手 | 機械工具 | リニア駆動ポンプ | 建築機器 | |
| 売上高 | | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 8,398 | 5,775 | 3,220 | 1,473 | 18,868 |
| その他の収益 | — | — | — | — | — |
| 外部顧客への売上高 | 8,398 | 5,775 | 3,220 | 1,473 | 18,868 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 8,398 | 5,775 | 3,220 | 1,473 | 18,868 |
| セグメント利益 | 1,962 | 396 | 242 | 7 | 2,609 |

セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | 合計 |
|-------------------|---------|-------|----------|-------|--------|
| | 迅速流体継手 | 機械工具 | リニア駆動ポンプ | 建築機器 | |
| 売上高 | | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 9,637 | 6,502 | 3,533 | 1,677 | 21,350 |
| その他の収益 | — | — | — | — | — |
| 外部顧客への売上高 | 9,637 | 6,502 | 3,533 | 1,677 | 21,350 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 9,637 | 6,502 | 3,533 | 1,677 | 21,350 |
| セグメント利益又は損失(△) | 2,453 | 510 | △43 | 7 | 2,927 |

セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2023年2月1日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項の規定に基づき、自己株式を取得すること及びその具体的な方法について以下のとおり決議いたしました。

1. 自己株の取得を行う理由 資本効率の向上と機動的な資本政策を遂行するため。
2. 取得に係る事項の内容
 - (1) 取得する株式の種類 当社普通株式
 - (2) 取得する株式の総数 800,000株(上限)
 - (3) 株式取得価格の総額 1,000百万円(上限)
 - (4) 取得する期間 2023年2月2日から2024年2月1日まで
 - (5) 取得の方法 東京証券取引所における市場買付